DX戦略 および
具体的な取り組み について

2024年4月19日

デジタル総合印刷株式会社

1 ごあいさつ

平素は私どもデジタル総合印刷株式会社 Digital Printing & Solutions, DPS に格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

デジタル総合印刷株式会社は１９５２年の創業以来、
「印刷と情報処理技術（ICT）の融合」の旗印のもと、事業展開を図ってまいりました。

近年、ICT技術の急速な発展は印刷事業を取り巻く環境を大きく変化させました
。紙メディアとICTの融合が情報の活用を活性化する時代になっております。
私たちは永年培って参りました、情報の活用技術（印刷展開・ICT展開）を活かし、紙媒体の印刷は勿論、電子化したカタログやマニュアル、ホームページ制作、３Dコンテンツ、ARに至るまで、印刷とICTの融合を図ったお客様に最適なソリューションをより一層の短納期と高品質で提供して参ります。

お客様とともに光ある未来へ。
日々の変化を敏感に捉え機動性溢れる総合力で皆様のお役に立てる企業を目指して参ります。
これからも厚いご愛顧とご支援を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

Digital Printing & Solutions, DPS
デジタル総合印刷株式会社

代表取締役社長　河内 克之

DX 時代の印刷は
IMPRINTINGになる。

近年、注目を集めるDX（デジタルトランスフォーメーション）。
DXというとAIやIoTなど新技術に目が行きがちですが、DXの本質は「事業を変革すること」にあります。

DXを成功させるためには、データを事業にImprinting（刷り込み）することが重要とされています。

【課題を発見し、事業のあり方を変え、企業の価値を高める】

こうした結果につながるまでのプロセスは、印刷もDXも同じであると私たちは考えます。
印刷会社が培ってきたノウハウは、DX時代において欠かせない存在になるための可能性を持っており、その発展こそが、きたる次の時代に担うべき“印刷会社の役割”であると信じています。

PrintingからImprintingへ、
DX時代の印刷はImprintingになる。

その時代を担うのはまさしく印刷会社の仕事である。

3 経営ビジョンの実現 に向けた 取り組み

① お客様のDX化を促進するサービス・製品を販売

マーケティング(Marketing)と企画(Planning)により、デジタル技術と印刷技術を融合した独自のノウハウで、新しい情報サービスのあり方を一貫して追求。「当社におけるDXとは、お客様のDXを支援すること」と定義し、お客様のIT導入・DX化のお手伝いをデータ制作からシステム活用までワンストップで行います。

主な販売DXサービス

WEBパーツカタログソリューション

CATALOGcreator®　座標鳥

デジタルカタログサービス

デジタルネットプレス
DIGITAL NET PRESS

3DCADモデル 作成サービス

2D to 3D
3D CAD data creation service

Manufacturing Supporter　マニュサポ

マニュサポ

3 経営ビジョンの実現 に向けた 取り組み

② DX事業推進戦略

当社のDXに関するビジネスモデルとして、DX事業推進戦略を9項目定め推進しております。

1. **社内におけるDX事業への取組を加速させるため、挑戦することに対するインセンティブを準備する。**
2. **お客さま情報および活動履歴、商談状況などの情報をタイムリーに把握することで、お客さまのDXニーズを的確に捉える。**
3. **自社における事業、サービス、開発・導入実績情報をデジタル化し、タイムリー、かつインタラクティブな活用を可能にする。**
4. **リモート対応を含めビジネスチャット、Web会議システム等のツールを用いて、社内で柔軟かつタイムリーな情報交換を行う。**
5. **DXニーズに応えるため教育機関との連携を深め、共創による解決に挑戦する。**
6. **パートナー企業の創出や、グループ企業との連携を積極的に推進し、シナジー効果の獲得を図る。**
7. **お客様経営層との積極的な対話に努め、お客様の全体最適に貢献する。**
8. **社内技術者に、最先端のデジタル技術を修得するための支援を行い、専門技術のレベルを向上させる。**
9. **プロジェクト管理・工数管理ツール、クラウド型会計システム、顧客管理システム、マーケティングツールなどを導入し、業務を効率化する。**

4 DX戦略 のための 体制

① DX戦略のための部門を設置

下記のDX部門を設置

DX3D推進室

お客様へのDX化のご提案、社内DX 戦略の企画・推進および、 DX事業推進戦略の推進を行う。

DX事業本部

3Dソリューションやデジタル技術を活用した、 DX促進のためのサービスを開発・製作・提供します。

マーケティンググループ

名刺・顧客管理のクラウドツールを使用し、 DX戦略的にマーケティングを行います。

② 管理業務の変革・リモート会議による効率化

・チャットツールを導入し、社内でのスピーディな情報伝達や、技術とノウハウの共有を行う
・プロジェクト管理・工数管理ツールの導入
・クラウド型会計システムの導入
・クラウド型データ共有サービス（Googleドライブ等）の積極的な使用
・クラウド型顧客管理システム（CRM）や、マーケティングツール（SFA）の導入
・他事業所とのリモート会議、またWEB会議に必要な備品を積極的に導入

5 DX戦略の達成度に係る指針

お客様へのDX化のご提案だけでなく、社内のDX戦略の達成度を測る指標として、以下を目標として掲げます。掲げた指標は定期的に評価とフィードバックを行うことで、戦略の進捗状況を確認します。

これらの目標は、**2026年3月までに達成することを目指します。**

① 人材の育成

DX推進に必要なスペシャリストや、デジタル技術に精通した人材の育成・確保を行います。

グループ企業との協力や、外部専門研修サービスを活用し、DX戦略に必要な人材の育成を目標とします。

② DX戦略を効果的に進めるための、 DXに関する検定の取得

経営トップのもと、DX3D推進室が中心となり、DXに関する資格の取得を社内で促進します。

「DX検定」の「DXスタンダードレベル」取得者 **社内 10名** を目標とします。

③ SFAツールの開発・整備

使用している顧客管理システム（CRM）を活用した、グループ企業間で顧客情報を共有できる新たなマーケティングツール（SFA）を開発しています。

現在は、設計・要件定義・詳細設計中であり、定期的な進捗管理、テストを経て、

2026年3月までのリリースを予定しています。

6 セキュリティ対策 について

① 個人情報保護方針規定

1. 当社は個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守します。
2. 当社は個人情報を含む業務を受託した場合には、その受託した業務範囲内においてのみ個人情報を取り扱います。
3. 当社が保有する個人情報については個人の尊厳を重んじ細心の注意をもって管理し、
   業務上必要な範囲に限定し適正に使用いたします。
4. 当社が取得する個人情報は、当社の取扱商品およびサービスに関するご案内・営業活動の目的で利用します。
5. 当社は個人情報への不正アクセス、または紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどのリスクに対し、
   合理的な安全対策を講じ継続的にその向上を図ります。
6. 当社は印刷事業並びに最新の IT 技術動向を踏まえ、継続的且つ適切なコンプライアンス・プログラムの改善を行います。
7. 当社は情報を取り扱う企業としての責任を理解し、上記方針を全従業員が周知・徹底することを誓います。

② セキュリティ対策に関する具体的な取り組み

・SECURITY ACTION 2つ星の宣言
・コンプライアンス委員会の設置
・安全衛生委員会の設置
・コンプライアンス活動進捗
・情報セキュリティチェックシートによる定期的運用（内部監査）
・セキュリティ対策ソフトのインストール